

再質問の方式
1 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

小平市議会定例会一般質問通告書

質問件名 保育の現場を支える会計年度任用職員などの処遇について

質問要旨 コロナ禍で、生活の基盤を支える保育士などエッセンシャルワーカーの重要性が認識され、大切な仕事に見合う報酬となっているのか疑問の声が上がりました。また、コロナ禍では非正規労働者の多くが職を失い、非正規労働の問題点が浮き彫りになりました。会計年度任用職員などとして保育の現場を支えている方々の処遇について、以下質問します。

1. 昨年12月、政府は保育士・幼稚園教諭等に対する3%程度(月額9000円)の処遇改善のため、国が全額負担する臨時特例交付金を設定しました。小平市でも、令和4年3月定例会に出された補正予算第13号に、この交付金を活用する民間保育園等運営事業として、処遇改善のための予算1521万7千円が計上されました。この事業の現時点での利用実績について、何%でいくらかの改善があったのか、具体例を含めてお教えてください。
2. 一般会計補正予算第13号では、東京都からの補助金も活用して認証保育所職員の処遇改善のための予算も計上されました。この利用実績も同様にお教えてください。
3. 三鷹市やあきる野市では、上記の臨時特別交付金を活用して、市立保育園に会計年度任用職員として勤務する保育士の報酬を3%引き上げたと聞きました。調布市、東大和市、清瀬市、西東京市では、保育士のみならず保育園給食調理の会計年度任用職員の報酬も上げたそうです。小平市で、同様の報酬引き上げを行わなかった理由をお教えてください。
4. 令和2年度決算特別委員会参考資料集によると、小平市の会計年度任用職員専門職の保育士の報酬は、勤務時間(上限)が週24~30時間で123,800円~154,800円と、小金井市の週30時間勤務で月額185,900円、東村山市の週27~30時間勤務で月額168,800円~194,400円、八王子市の週30時間勤務で月額194,500円、などと比べて低めです。このことについて、市の見解をお聞かせください。
5. 上記資料集には、会計年度任用職員は、任用期間1年で4回まで更新可能と書かれています。任用後5年たったら、どうなるのでしょうか。
6. 小平市では、市立保育園の栄養士は会計年度任用職員専門職ですが、令和3年度と4年度の一般会計予算書を比較すると、5名から4名に減っています。この理由をお教えてください。
7. 令和3年度と4年度の一般会計予算書を比較すると、市立保育園9園の正規一般職が185人から172人へと13人減っています。この内訳をお教えてください。
8. 令和4年度予算には、大沼保育園の給食調理業務を来年1月から委託化する予算648万円が計上されています。委託化の目的は何ですか。また来年1~3月も直営で行った場合のコストの見積もりを委託化した場合と比較してお教えてください。また、大沼保育園で調理業務に従事している正規職員と会計年度任用職員の人数、および委託化によりそれらの方々はどうなるのか、お教えてください。